

How to use of Communication Models



■コミュニケーション模型 使い方のポイント ～カリエス編～



治療の流れ →

カウンセリング

カウンセリングでは、主訴の確認はもちろんのこと、来院動機や口腔内情報の提供、患者さんが今後どうなりたいかなどの潜在意識や医療サービスに対する希望の聞き取りなど、病気を見るだけでなく意識を聞き取ることが重要になります。

4倍大歯牙分割模型 P13-304D 複製歯牙着脱顎模型 i21D-400C

健康的な歯の情報提供や患者さんがどの程度歯に関して知識があるのかを調べるため、X線写真などと組み合わせて歯や歯周組織のことを説明してみましょう。

診査・診断

診査・診断では、これからの治療をスムーズに行えるよう、現状と将来予測の説明を行い、患者さん自らが治療の必要性やそれを行う意味、なぜそのようになったかなどの原因やセルフケアの必要性に気付いて頂くことが重要です。




カリエス分類模型 P23-CA.1 透明歯牙疾患模型 P12P-100M

カリエスとはどのようなものなのか、X線写真や口腔内写真などと組み併せて進行状況や将来予測、その原因なども併せて説明してみましょう。

治療計画

治療計画では、どこをどの程度削るのかなど、これから行う治療内容を説明し理解を得ること、治療法の妥当性やその意味、その治療にかかる費用や期間などを理解して頂くことが重要となります。




治療内容説明模型 i21-400i インプラント説明模型 P9-3100

カリエスを治療する方法がどのようなものがあるのか、補綴物の種類や特徴など治療方法の選択肢を説明してみましょう。

治療

治療では、治療計画で説明した計画が今の程度進んでいるのか、また治療方法に関する疾患原因の除去法を説明し、実際に治療していくイメージを抱いて頂くことが重要となります。





治療内容説明模型 i21-400i 歯髄疾患処置模型 P23-END.1

治療がどの程度進み、どの程度良くなったのかなどの説明や、その日に行う治療の流れなどをイラストなどと併せて説明してみましょう。

セルフケア

セルフケアでは、患者さん自らが今まで行ってきた治療の効果に気付き、その治療した健康な状態を維持していきたいと思い、これから行っていくセルフケアの重要性やポイントに気付いて頂くことが重要となります。





歯磨き指導顎模型 P3D-801 人工ブラーク

今後気を付けなければならないこととして、患者さんのお口の中に合ったあったセルフケアの方法やプロフェッショナルケアの必要性を説明してみましょう。

○カリエス予防のポイント

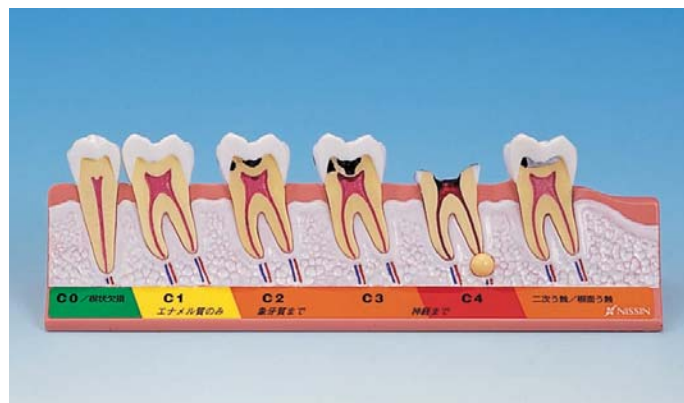
- ・カリエスに対しての抵抗力を考慮したプランを立ててみましょう。
- ・歯頸部や最後臼歯部などのカリエス発生部位の特徴を掴み、それぞれの部位にあった指導をしてみましょう。


最後臼歯部
頬側からブラシを挿入し、ブラシの先端を当て頬側にひっぱるように動かします。

補綴物のマージン部
ポンティック部には歯間ブラシまたは、デンタルフロスを用いて清掃します。

根面露出部
柔らかめの歯ブラシか小さめのポイントブラシを使用します。知覚過敏などに気を付けてブラッシング圧を調整しながら清掃します。



P23-CA.1



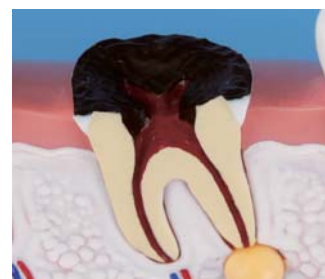
●舌側面観



①C0



②C2



③C4



④2次う蝕

疾患

カリエス分類模型 [P23-CA.1]

診査・診断時、う蝕に関する現状の説明と将来的な予測の説明を行いやすいたモデル。より説明しやすく、患者さんには比較することで分かりやすく理解して頂けるよう、C0からC4までの状態と2次う蝕までの6段階を1列に並べています。また、う蝕が歯髄におよぼす影響も説明できるよう、分割した模型歯の内部に歯髄炎などを想定した状態も付与しています。X線写真や口腔内写真と併用することで、現状やその後の治療方法などの説明を効果的に行うことができます。

疾患

治療内容説明用模型 [i21-400i]

う蝕に関する治療計画の説明の際、処置前と処置後との状態を比較しながら治療の内容や方向性を説明できるようにしたモデル。治療前後の状態を簡単に比較できるよう、右側の歯列にはC1やC3のう蝕や根尖病巣などの様々な疾患を想定した状態を、左側の同一部位にはレジン修復やブリッジなどの処置後を想定した状態を付与しています。治療計画を説明する際、疾患の症状に応じた治療の内容はもちろん、治療完了までに必要な時間や治療回数なども説明することで、より効果的な説明を行うことができます。



i21-400i



①インプラント・硬質レジン症例



②レジン充填での歯冠修復



③インレーでの歯冠修復



④ブリッジでの歯冠修復



P12P-100M



①歯に及ぶ色々な疾患



②埋伏歯



③歯周組織に及ぶ色々な疾患



④歯根破折

疾患

透明歯牙疾患模型 [P12P-100M]

診査・診断時、歯に関する疾患を説明しやすくするため、透明なモデルの中に16種類の疾患を想定した状態を付与したモデル。歯冠部のう蝕や破折など目視できる病変はもちろんのこと歯内部を透明にすることで、通常では目視できない歯根や根尖歯周組織の疾患もより見やすくなっています。なかなか分かりにくい疾患の説明をモデルの左側の疾患状態と右側の健全状態とを比較しながら説明したり、口腔内写真やX線写真と併用したりすることでより効果的に行うことができます。

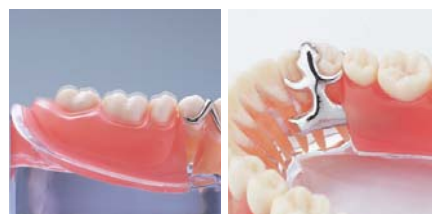
インプラント

インプラント説明用模型 [P9-3100]

治療計画時、インプラントに興味を示す患者さんにその治療に関わる内容や義歯との違いを分かりやすく説明できるようにしたモデル。インプラントのことをより理解しやすくするため、透明モデルの左側にインプラントを想定した補綴物を、右側には義歯を想定した補綴物を装着しています。この2つの補綴物を比較しながら色々な特徴を説明することでインプラントと義歯との支持形態の違いや構造の違いなど、インプラントの基本的な性能が直感的にイメージしやすくなっています。



P9-3100



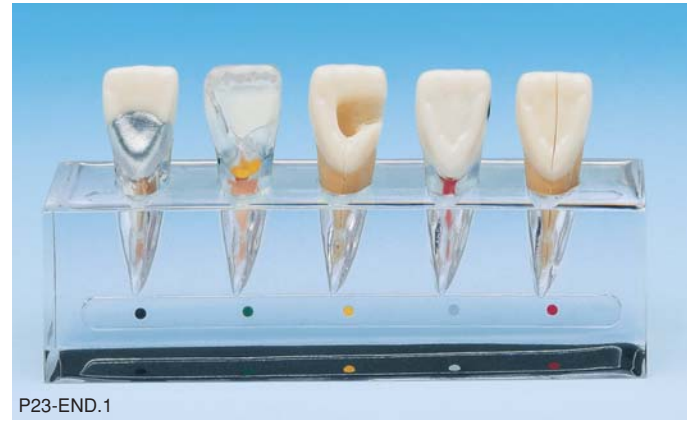
①義歯の構成と支持様式の違い



②インプラントが植立されているイメージ



③清掃に関する説明



P23-END.1

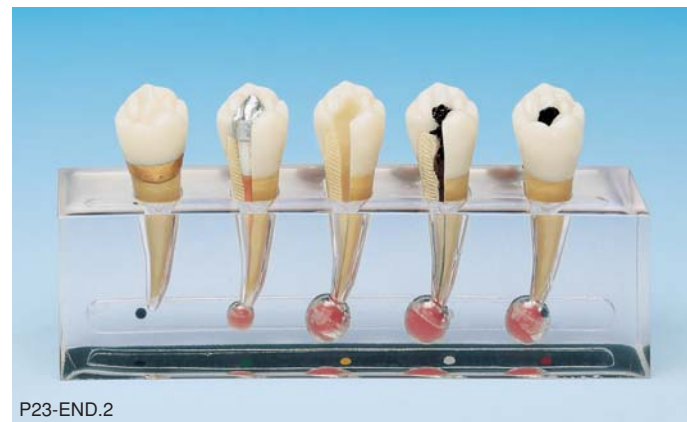
根管治療

歯髄疾患処置模型 [P23-END.1]

根管治療の治療計画時や治療を行う際の説明など、患者さんがなかなかイメージしにくいその処置をより分かりやすく説明できるようにしたモデル。抜髄の必要性や根管処置のステップをより説明しやすくするため、健全な歯が歯髄炎になり、抜髄や根管拡大、根管充填を経て歯冠修復処置を施すまでの流れを5つのステップに分けて並べています。また、各ステップのモデルは分割して中部の観察が可能です。X線写真と併用することでより具体的な説明を行うことができます。



歯冠修復 根管充填 髄室開拓、抜髄、根管形成 隣接面う蝕から歯髄炎に罹患 健全歯

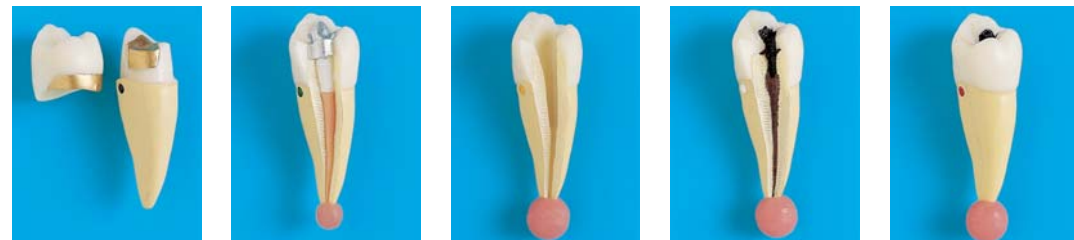


P23-END.2

根管治療

歯髄疾患処置模型 [P23-END.2]

感染根管治療の治療計画や治療を行う際の説明など、患者さんがなかなかイメージしにくいその処置をより分かりやすく説明できるようにしたモデル。根尖病巣を生じた歯に対し感染根管治療を施した後、根管充填を経て歯冠修復処置を施すまでの流れを4つのステップに分けることにより、処置のステップや病巣が治癒するまでの状態をより分かりやすくしています。また、各ステップのモデルは取り外しが可能なため、X線写真と併用することでより具体的な説明を行うことができます。



歯冠修復。根尖病巣の治癒 根管充填後根尖病巣の治癒の確認 根管拡大、根管形成 歯髄が罹患し、根管内が汚染 う蝕が進行し根尖病巣を成立

※根尖病巣を想定したピンクの球は台から取り外せません。



P3D-801

ブラッシング

歯磨き指導顎模型 [P3D-801]

ブラッシング指導の際、歯ブラシなどの当て方や動かし方をより分かりやすく説明できるようにしたモデル。口腔内でよく見られるブリッジや齦生、半萌出歯、楔状欠損などを想定した状態をモデルに付与し、基本的なブラッシング方法はもちろんのこと、不正歯列やブリッジなどの補綴物への歯間ブラシやフロスの使い方も説明することができます。また、ブリッジやインプラントの補綴物へのブラシの当たり方をより見やすくするため、全て透明な状態の補綴物を装着しています。

※詳しくはP18をご覧ください。



P8D-508

疾患

カリエス模型 [P8D-508]

う蝕の進行状況とう蝕予防のブラッシング指導に使用できるモデル。左側は根面う蝕やC1～C4までのう蝕の状態、右側は健全状態を表現しています。



P13-TR7

疾患

4倍大カリエス歯牙分割模型 [P13-TR7]

う蝕の進行状況やう蝕が歯髄におよぼす影響を見やすく説明できるモデル。2分割可能な4倍大の上顎大臼歯にC1～C3までの状態を表現しています。

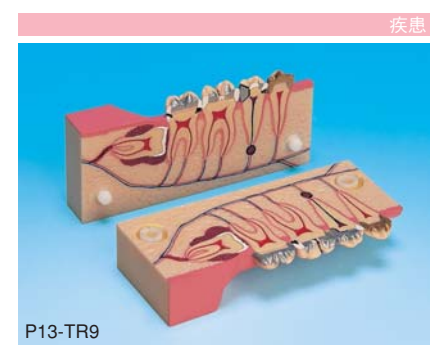


P13-TR8

疾患

4倍大歯牙総合病理模型 [P13-TR8]

う蝕が歯髄におよぼす影響など様々な病理状態を説明できるモデル。分割された4倍大モデルに隣接面う蝕などの様々な疾患を表現しています。



P13-TR9

疾患

右下臼歯分割組織模型 [P13-TR9]

2次う蝕や根尖病巣の状態、う蝕が歯髄におよぼす影響などが説明できるモデル。2分割できる2.5倍大モデルのため内部の状態が見やすくなっています。

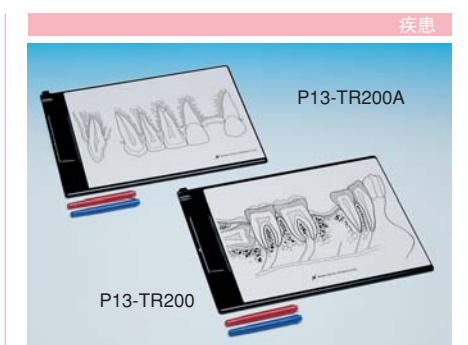


P13-TR10

疾患

下顎骨組織模型 [P13-TR10]

う蝕や根尖病巣、水平埋伏歯などの状態を説明するためのモデル。頬側部分は開閉が可能のため内部の状態が観察しやすくなっています。



P13-TR200

疾患

デンタル視説ボード [P13-TR200 (臼歯タイプ) / P13-TR200A (前歯タイプ)]

あらかじめ歯と歯周組織がプリントされたホワイトボードです。水性サインペンで自由にカリエスや補綴物などを書き加えて説明することができます。